

皆

さんはイノベーションと
いう言葉をご存じでしょ
うか？イノベーションは、広義
には、生産技術の革新、資源の
開発、新消費財の導入、特定産
業の構造の再組織などを指す、
経済成長の原動力となる革新を
意味しています。地域発イノ
ベーションによる新事業・新産
業の創出は、新たな雇用と所得
が期待でき、さらに、地域の自
立的・内発的経済発展の基盤を
つくりだすものであり、我が国
の技術開発政策を推進するため
の一翼を担っています。

沖縄総合事務局では、地域の
イノベーションが連続的に起こ
るような環境を作り、特色ある
地域産業資源を最大限に活用し
た産学官の共同研究開発事業に
対する支援をはじめとして、地
域のイノベーションを担う関係
機関が「協働」し、各々のリソ
スを有効に活用できるような、
強固なネットワークの形成を推
進しています。

沖縄は、豊かな地域資源やこ
れまで蓄積されてきた研究資源

を有しています。それらの強み
を活用した健康バイオ産業は、
その振興発展が期待されていま
す。健康バイオ産業は、海外市
場という大きなビジネスチャン
スが存在する一方で、バイオテ
クノロジーのグローバルな開発
競争や、多様な国内市場の二
ズへの対応が求められており、
沖縄の健康バイオ産業の飛躍の
ためには、地域のイノベシヨ
ン力を高めることが重要となっ
ています。

これらの状況を踏まえ、沖縄
における健康バイオ産業のイノ
ベーションを戦略的に推進する
ため、健康バイオ産業の動向、



宮田氏講演

産学官連携の取組、技術シーズ
発表、商品企画人材育成等の一
連の取組を紹介する、沖縄イノ
ベーション・ウィークが、平成
21年11月10日～13日の間、開催
されました。

11月10日

「健康食品ビジネスセミナー」

健康に年を重ねるといいう、健
康志向の高まりを背景に、健康
食品が注目されてきましたが、
昨今、安全性や有効性の面で多
様な課題に直面しています。今
後は、これらの課題を踏まえた
上で、消費者から選ばれる商品
展開を考えていく視点も必要で
す。今回、OKINAWA型産業
振興プロジェクト推進ネット
ワーク、沖縄県健康産業協議
会の主催で、同セミナーを開催
し、当該分野の第一人者である
日経BP社医療局主任編集委員
の宮田満氏から「健康食品ビジ
ネスは成立するのか？」をテー
マに御講演をいただきました。

当日は、104名の方にご来
場いただき、「良い内容で得る
ものが多かった。」「エビデンス
の重要性を再認識した。」等の
感想をいただきました。

11月11日

「沖縄イノベーションフォーラム」地域の潜在力を新商品、新サービス、新規事業へ」

国立大学法人琉球大学の主
催で、「沖縄健康・バイオ関連
産学官連携拠点形成シンポジ
ウム」及び「学を核とする地
域イノベーション」について
考える機会として、左記の内
容でフォーラムが開催されま



堀場氏講演

沖縄イノベーション

した。「沖縄健康・バイオ関連産学官連携拠点」は、沖縄県、琉球大学、沖縄県工業連合会、OKINAWA型産業振興プロジェクトの4者が連携した、健康バイオ産業の振興発展のための構想です。当該拠点は、平成21年6月、「地域中核産学官連携拠点」として、文部科学省及び経済産業省から選定されました。

（プログラム）

第1部

① 「沖縄に期待すること」

（日経BIP社医療局主任編集委員 宮田満氏）

② 「沖縄健康・バイオ関連産学官連携拠点形成構想について」

（国立大学法人琉球大学副学長 宜保清一氏）

第2部

① 「イノベーションの本質」

（株）堀場製作所最高顧問・全国イノベーション推進機関ネットワーク会長 堀場雅夫氏

② パネルディスカッション

「自立経済の実現に向けたイノベーションのあり方」

11月12日

「沖縄産学官イノベーションフォーラム2009」

平成17年度から開催し、今回、第5回目となる沖縄産学官イノベーションフォーラムでは、健康・バイオをテーマとした、大学や研究機関等の各種技術シーズの発表、技術シーズとニーズのマッチングをサポートする支援事業の紹介のほか、新商品開発や新規事業創出の参考となることを目的に、技術シーズを活用した事例について御講演いただきました。



セミナーの様子 11/12

（プログラム）

① 「素材の風味や香りを損なわない凍結保存技術（CAS）の開発」

（株）アビー代表取締役社長 大和田哲男氏

② 「売れる商品開発の実現」地方における新商品開発の心得、連携・コーディネート的重要性」

（中小企業診断士・食と農研究所代表 加藤寛昭氏）



ワークショップ成果発表(11/13)

11月13日

「やんばる花実野 新商品企画セミナー」

売れる商品づくりという観点から、沖縄の特産農産物を活用した加工食品等の新商品の企画・開発において、課題等を認識し、どのような手法で有効な新商品の企画・開発ができるのかについてセミナーが開催されました。受講者と議論しながら検討を進めるといった活発なセミナーとなりました。



セミナー会場の様子(11/13)